

2024年10月期第2四半期 決算説明資料

2024年6月13日



証券コード：3038

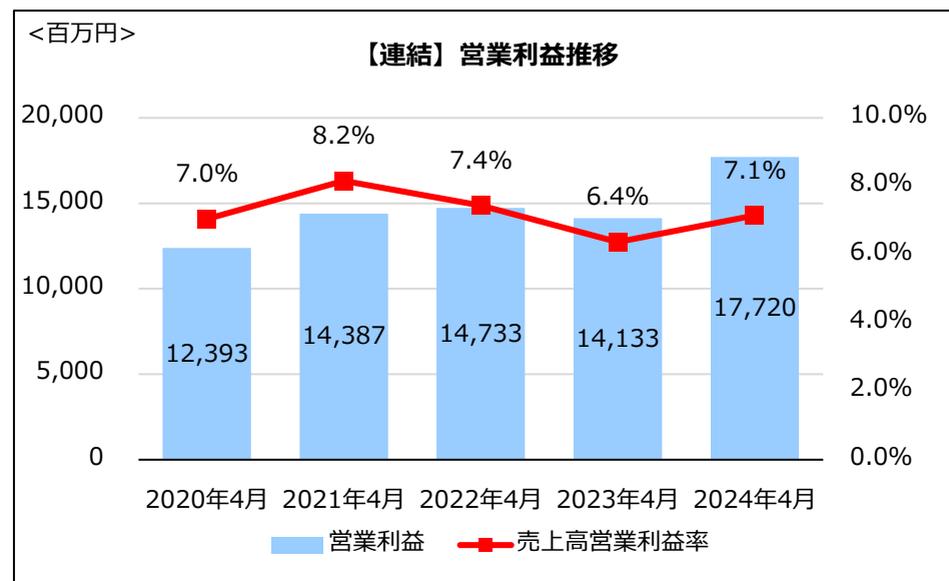
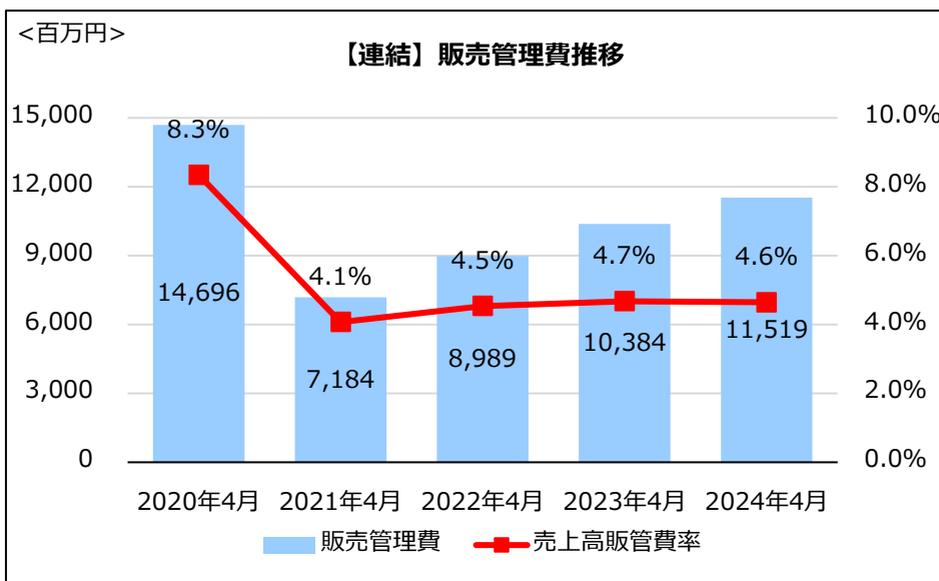
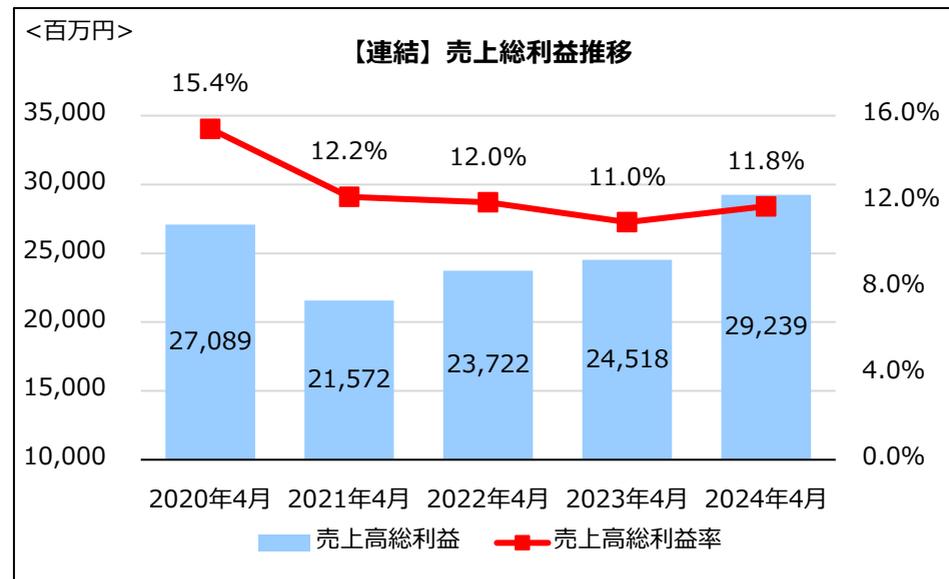
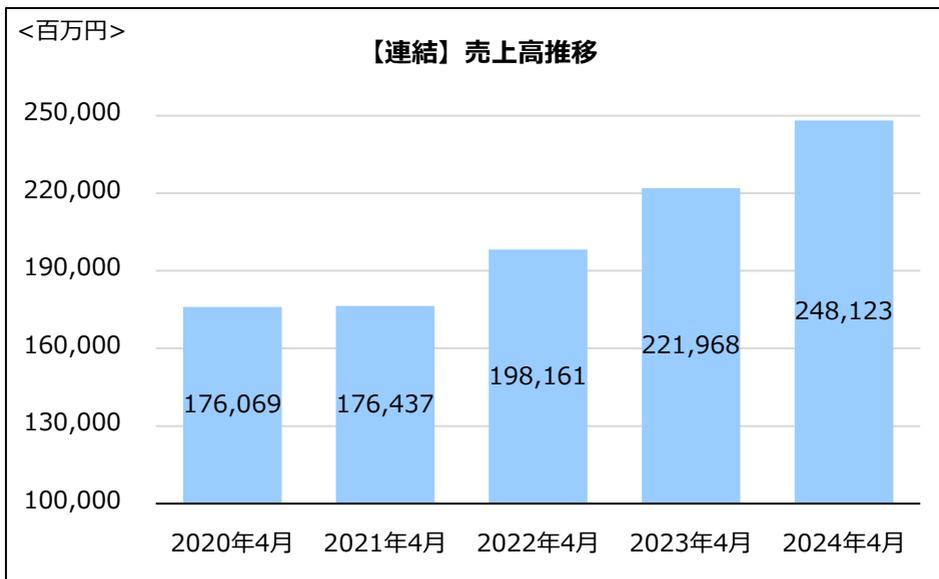
●連結業績及びハイライト(累計)	2
●業務スーパー事業	5
●業務スーパー契約概要	6
●業務スーパー店舗数推移	7
●業務スーパー出荷実績（前年比）推移	8
●当社の強み“商品力”	9
●外食・中食事業	10
●エコ再生エネルギー事業	14
●株主還元策	16
●中期経営計画	17

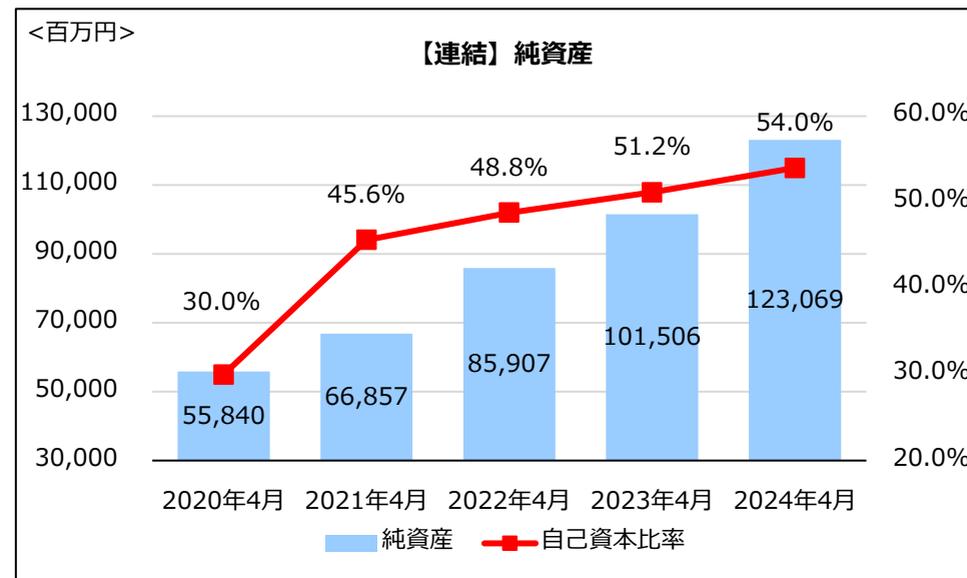
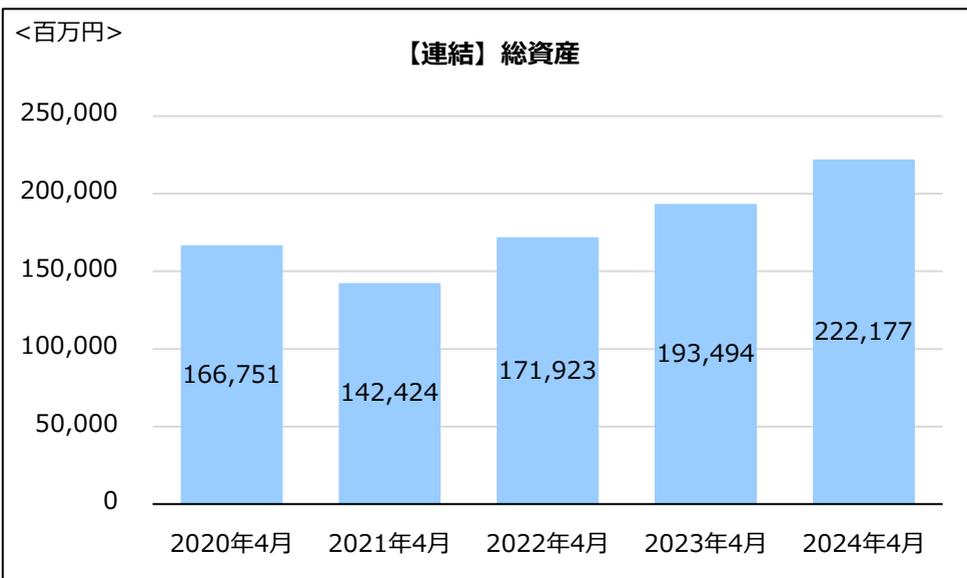
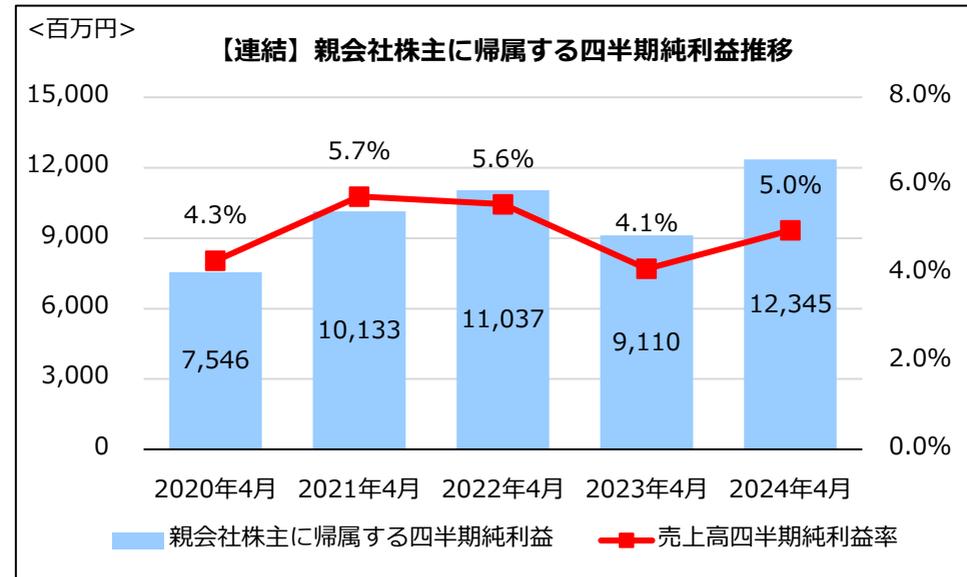
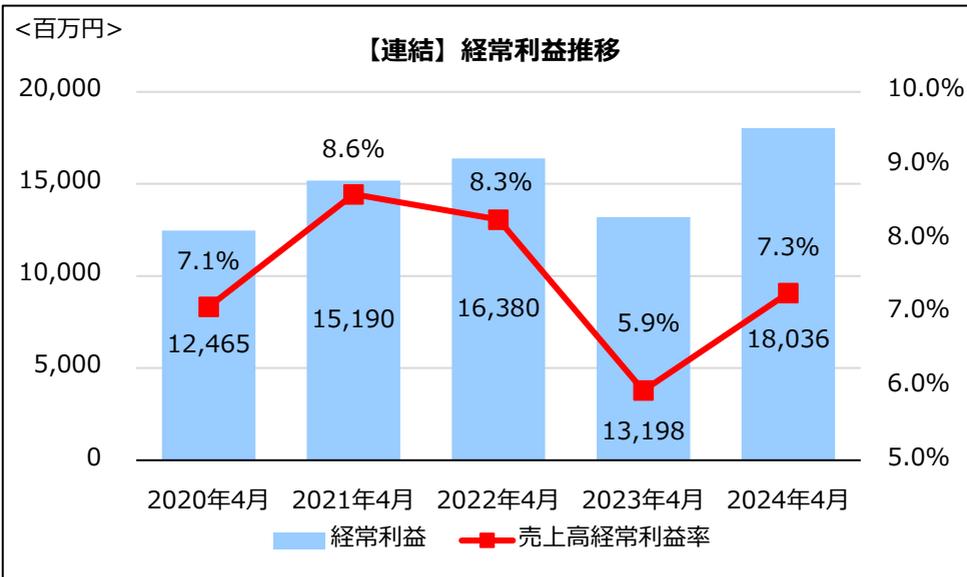
(単位：百万円)

	FY23 11~4月	FY24 11~4月	増減率	FY23 2~4月	FY24 2~4月	増減率	FY24 予想	進捗率
売上高	221,968	248,123	11.8%	114,025	127,218	11.6%	498,000	49.8%
売上総利益 (売上高総利益率)	24,518 (11.0%)	29,239 (11.8%)	19.3%	13,256	15,008	13.2%	-	-
販売管理費 (売上高販管費率)	10,384 (4.7%)	11,519 (4.6%)	10.9%	5,461	5,819	6.6%	-	-
営業利益 (売上高営業利益率)	14,133 (6.4%)	17,720 (7.1%)	25.4%	7,795	9,188	17.9%	31,000	57.2%
経常利益 (売上高経常利益率)	13,198 (5.9%)	18,036 (7.3%)	36.7%	11,079	9,972	-10.0%	33,000	54.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	9,110 (4.1%)	12,345 (5.0%)	35.5%	7,761	6,821	-12.1%	21,500	57.4%

【業績ハイライト解説】

- **売上高** : 新規出店と既存店への商品出荷が好調に推移したことにより、前年比261.54億円、11.8%の増加
- **売上総利益** : 為替変動の影響を受けつつも、売上高が好調に推移したことにより、同47.21億円、19.3%の増加
- **販売管理費** : 業務スーパーの売上高増加に伴う運賃や、プレミアムカルビの出店に伴う人件費や家賃等の増加により、同11.35億円、10.9%の増加
- **営業利益** : 上記の結果、同35.86億円、25.4%の増加
- **経常利益** : 前期は一時的に円高に振れたことで、為替予約による評価損が大きく計上されていたことにより、同48.38億円、36.7%の増加
- **親会社株主に帰属する四半期純利益** : 上記の結果、同32.35億円、35.5%の増加



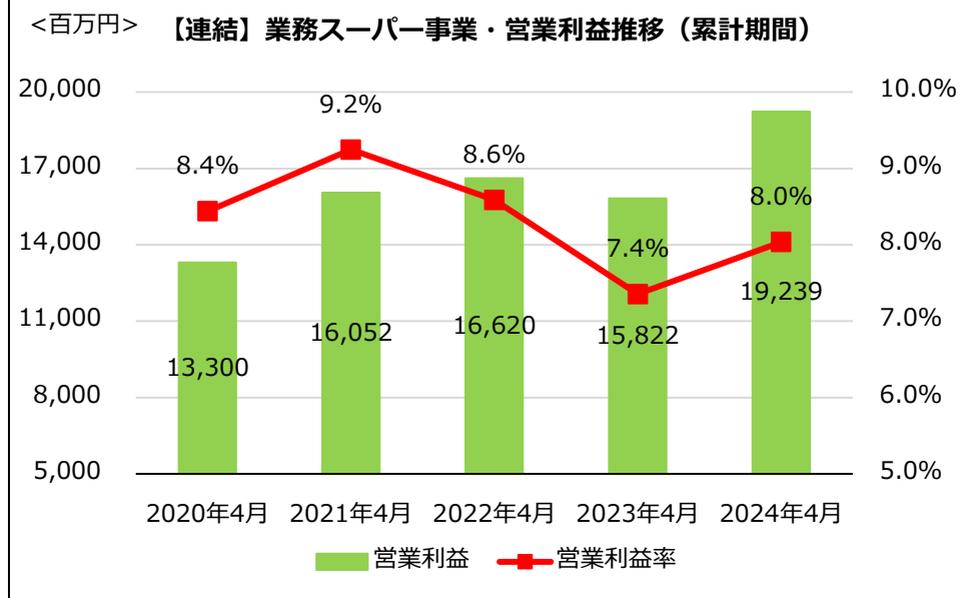
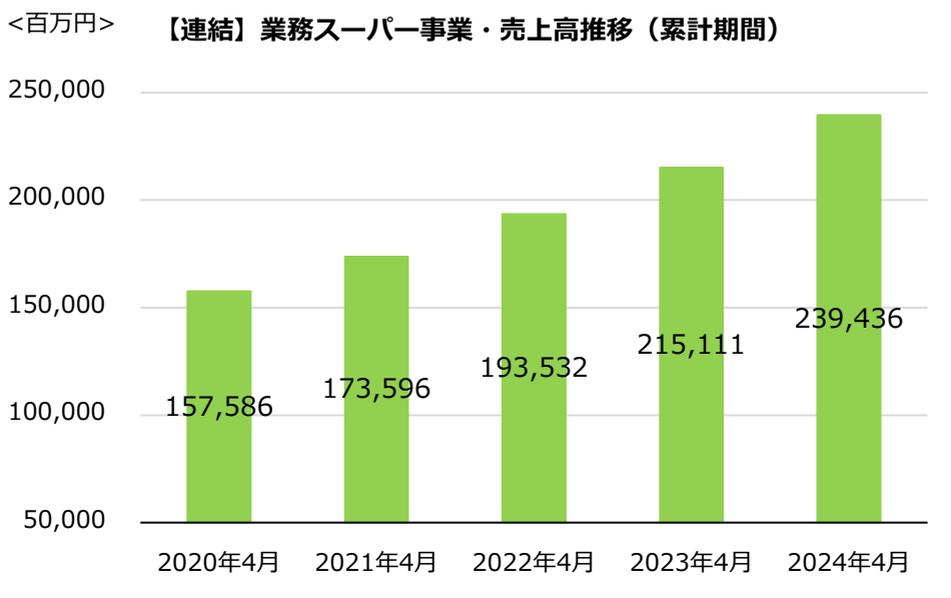


当社の主力事業です。業務スーパー F C本部としての加盟店への卸売やロイヤリティなどの他、自社グループ工場の損益もこのセグメントに分類されます。

- 全国に1,062店舗展開（2024年4月末現在）
- 既存店好調により、売上高は会社計画を上振れて着地
- 4月1日より、鹿児島県を直轄エリアに変更し、九州全域が直轄エリアに



横浜いずみ店内観



※2021年10月期より報告セグメントの区分変更を行ったため、2020年10月期より遡って表示しており、過去のデータとの連続性はありません。

業務スーパーは直営4店舗をのぞき、フランチャイズで運営しております。

当社のFC契約形態には、直轄エリア（※1）内に出店いただく際に締結するFC契約と、地方エリア（※2）内において業務スーパーのチェーン化を許諾するエリアライセンス契約があります。また、兵庫県・大阪府・神奈川県において直営で4店舗運営しております。

※1. 直轄エリア：北海道直轄：北海道

関東直轄：東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県

関西直轄：大阪府、京都府、兵庫県（淡路島を除く）、奈良県、和歌山県、滋賀県

九州直轄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

※2. 地方エリア：上記直轄エリア以外の地域

契約概要・加盟条件

(2024年4月末現在)

	直轄エリア	地方エリア
契約社数	91社	14社
契約単位	1店舗単位で契約 どのオーナーでも出店可能	県単位で契約 エリアオーナーに独占権あり
加盟金 (消費税等別途)	200万円	当該エリアの人口×2円
保証金	1,000万円	当該エリアの人口×5円
ロイヤリティ	総仕入高の1%	対象商品の仕入高の1%
設備費	常温棚及び冷凍設備工事約3,200~3,800万円 (上記は目安となり、物件により変動します) 別途：設備、建築工事一式、POSレジ、その他準備金等	
配送料	原則本部負担	要相談

損益シミュレーション

(標準的な業務スーパー)

損益勘定	月額金額	構成比
売上高	43,500千円	100.0%
売上総利益	7,395千円	17.0%
販売管理費	6,499千円	14.9%
内（賃料）	1,300千円	3.0%
内（人件費）	2,393千円	5.5%
営業利益	896千円	2.1%

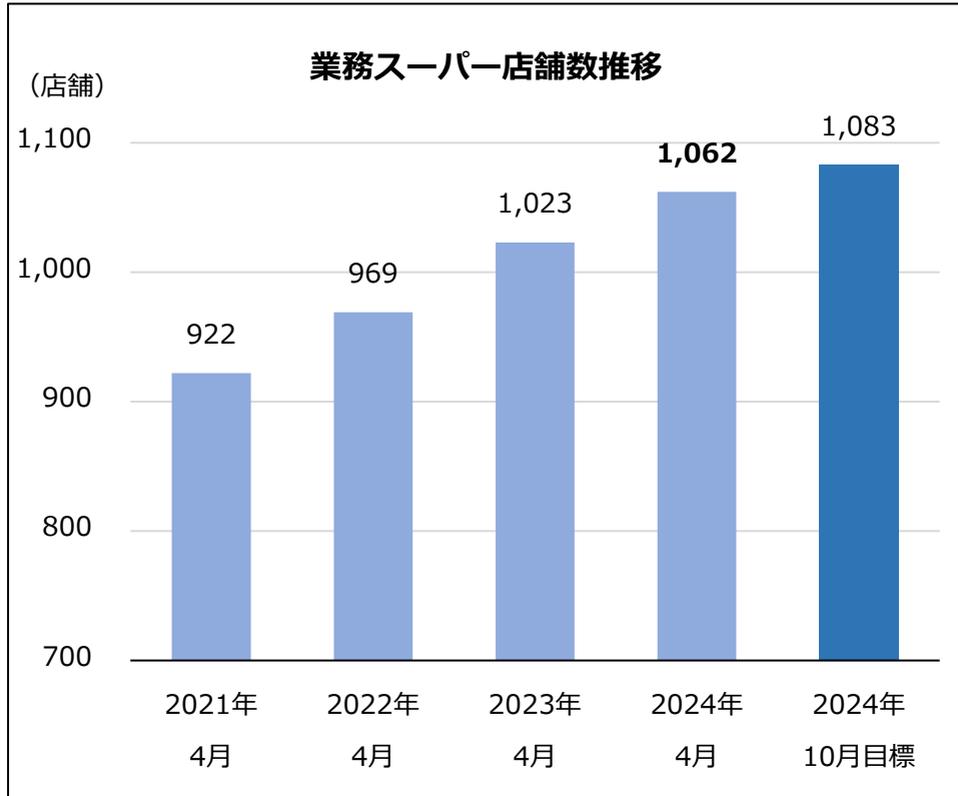
※生鮮など独自商品の取扱いによってシミュレーションより効率的に運営されている加盟店も多くあります。

2Q累計期間：出店23店舗、退店9店舗（純増14店舗）

2Q会計期間：出店20店舗、退店9店舗（純増11店舗）

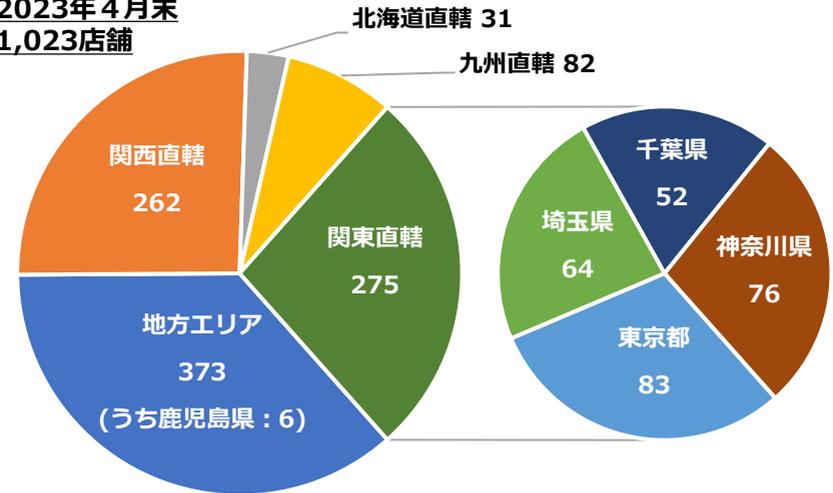
目標に対する進捗率：40%（目標：純増35店舗）

関東から九州までの広い地域で出店が進む

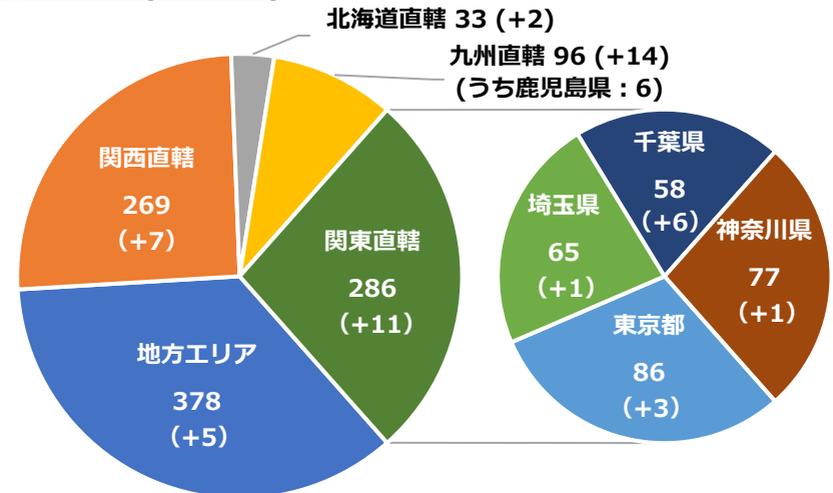


地域別の店舗数

2023年4月末
1,023店舗



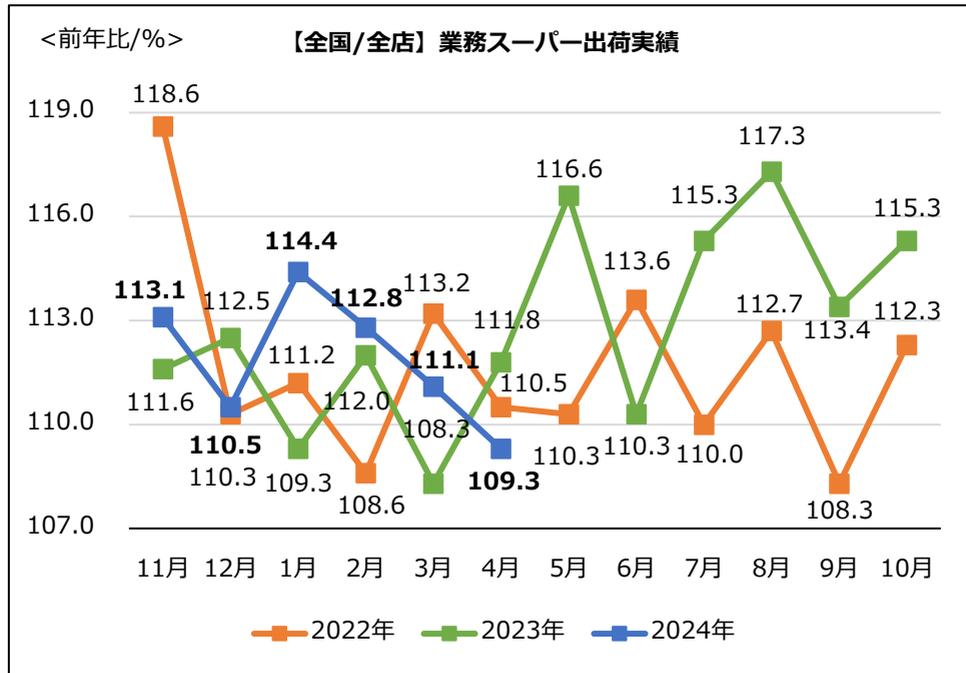
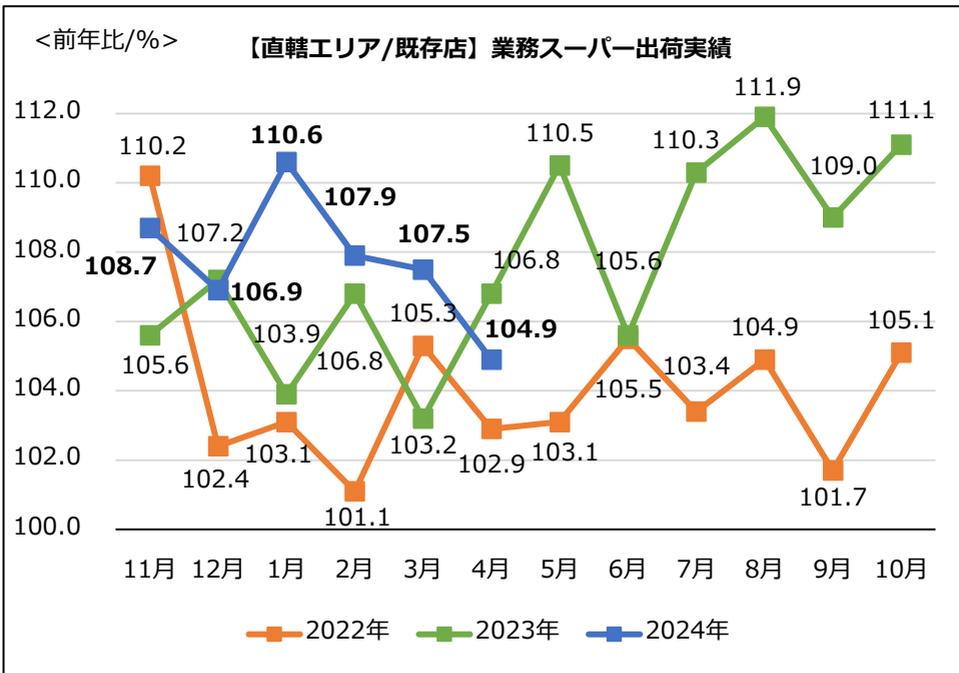
2024年4月末
1,062店舗 (+39店舗)



※2024年4月1日より、これまで地方エリアであった鹿児島県を直轄エリアといたしました。

業務スーパー出荷実績（前年比）推移

全国的に集客力が回復し、前年比100%を超えて推移



【業務スーパーへの出荷実績（前年比）：%】

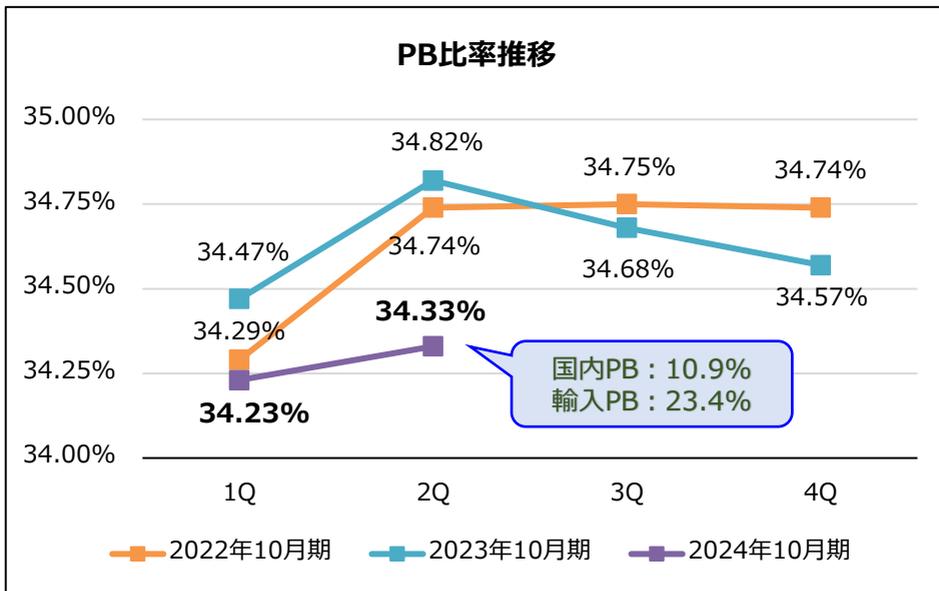
		2023年10月期			2024年10月期						
		上期	下期	通期	11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期
直轄エリア	既存店	105.6	109.4	107.7	108.7	106.9	110.6	107.9	107.5	104.9	107.7
	全店	111.4	114.7	113.1	112.7	110.2	113.8	111.7	111.0	109.1	111.3
全国	全店	111.0	114.7	112.9	113.1	110.5	114.4	112.8	111.1	109.3	111.7

会計期間別
直轄エリア既存店
出荷実績

1Q : 108.6%
2Q : 106.7%

※全国は直轄エリア+地方エリア店舗への商品出荷実績となります。

オリジナル商品の強化



■ 自社輸入商品（一例）



北京ダック
1,000g 1,274円
北京ダックの皮
200g 192円



畑のお肉の魯肉飯醬
(ルーローハンジャン)
195g 267円



チョコレートブラウニー
5個 235円

新工場の稼働

宮城製粉の生産能力が従来の約2.5倍に



【写真】新工場外観

- 2024年4月に宮城製粉株式会社の巨理本社工場が稼働開始。
- これにより国内の自社食品工場数は26工場となりました。

■ 宮城製粉 巨理本社工場製造商品（一例）



おとなの大盛カレー
中辛
220g×4 343円



やわらか煮豚
550g 505円



ぷち大福
750g 321円

※価格は税込です
店舗や時期により商品の取扱いや価格が異なる場合があります

当社が主体となり直営またはFC本部として行っている外食・中食事業です。
 ビュッフェレストラン「神戸クック・ワールドビュッフェ」や焼肉オーダーバイキングの「プレミアムカルビ」、惣菜店「馳走菜（ちそうな）」がこのセグメントに分類されます。

- 3業態すべて好調に推移
 - 外食では、春休みなどのイベントで集客に成功
 - 馳走菜では、順調に出店が進む
- 上記の結果、セグメント業績も大きく改善



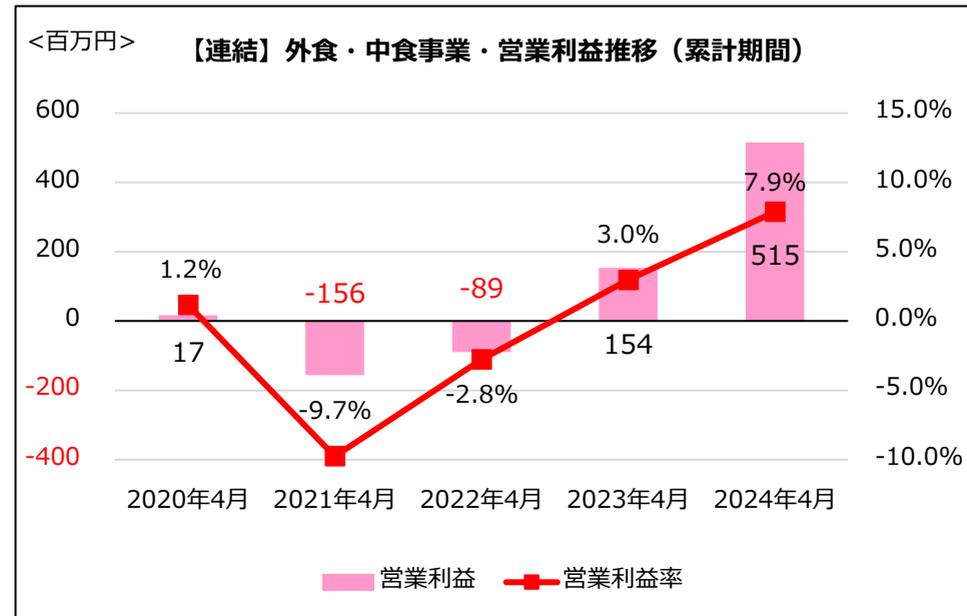
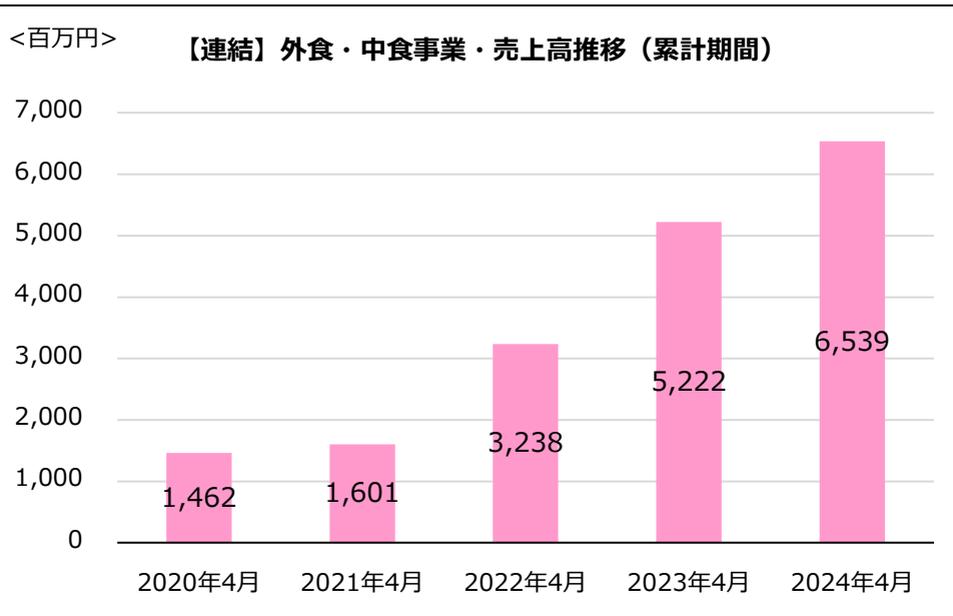
神戸クック・ワールドビュッフェ



プレミアムカルビ



馳走菜



※2021年10月期より報告セグメントの区分変更を行ったため、2020年10月期より遡って表示しており、過去のデータとの連続性はありません。

神戸クック・ワールドビュッフェ

合計店舗数：15店舗（2024年4月末現在）

2Q累計期間：出店1店舗、退店0店舗（純増1店舗）

2Q会計期間：出退店なし

TVやYouTubeなどで露出機会も増加



12 つくる責任
つかう責任



集客に向けた取り組み

12月26日～2月29日には“韓国フェア”、3月1日～4月30日には“イタリアフェア”と、2か月ごとに取り上げる地域を変更しながら世界の料理フェアを開催しております。その中で、お客様のニーズを捉えた商品展開ができるように、フェアごとに10～20種類の新メニューを提供しております。イタリアフェアは春休み期間でもあり、非常に多くのお客様にご利用いただきました。

また、土日限定キッズメニューも好評でした。小さいお子様が安心して食事ができる店舗作りを引き続きおこなってまいります。

2024年10月期後期の見通し

春休み期間はファミリー層の需要が高く、全店で新型コロナウイルス感染症拡大前の売上水準まで回復しました。当四半期だけでなく、通期においてもこの水準を維持し、更なる成長に向けて取り組んでまいります。また、インバウンド・旅行客など団体客の需要は引き続き期待されます。

今後も多くのお客様が日常적으로ご利用いただけるように、他にはないメニュー構成、ボリュームと価格で満足いただけるサービスを提供していきます。



3月～4月に開催したイタリアフェア

プレミアムカルビ

合計店舗数：21店舗（2024年4月末現在）

2Q累計期間：出店1店舗、退店0店舗（純増1店舗）

2Q会計期間：出退店なし

フランチャイズ展開を視野に



2024年前期 総評

2023年12月にオープンした湘南台店では、特急レーンの導入により商品提供スピードが大幅に短縮され、省人化による運営コスト削減にもつながりました。また、プレミアムカルビの特色であるデザートとして、発酵バターを使った生バターフィナンシェやカヌレなどの焼菓子、既存店舗より種類が多い自家製ジェラートを提供し、お客様からご好評をいただいております。

また、3月～4月は、卒業・入学シーズンのハレの日需要を取り込んだ集客に成功いたしました。引き続き、お客様のニーズをとらえたサービスを展開し、フランチャイズ化を目指して進めてまいります。



2024年10月期 出店店舗

湘南台店

神奈川県藤沢市湘南台7-37-9



7月には静岡県に
ドリンクバーを導入した店舗を出店予定

写真下段：プレミアムカルビ 湘南台店

※時期によって取扱いメニューが異なる場合があります。

馳走菜（ちそうな）

合計店舗数：121店舗（2024年4月末現在）

2Q累計期間：出店7店舗、退店0店舗（純増7店舗）

2Q会計期間：出店4店舗、退店0店舗（純増4店舗）

加盟店の出店意欲も高く、業務スーパー併設で店舗数拡大



好調の背景

原材料の価格高騰が続く中で、メニューの改廃や調理オペレーションの効率化などに取り組み、価格優位性を維持しております。加えて、業務スーパーの集客力向上へのシナジー効果が高く、加盟店の出店意欲も高まっております。

また、店内調理による出来立て感や、ボリューム感が引き続きお客様に支持されております。

業務スーパーの出店に伴って店舗数を拡大しつつ、引き続きラインナップを広げ、お客様にとってより魅力的でご満足いただける売り場づくりに努めてまいります。

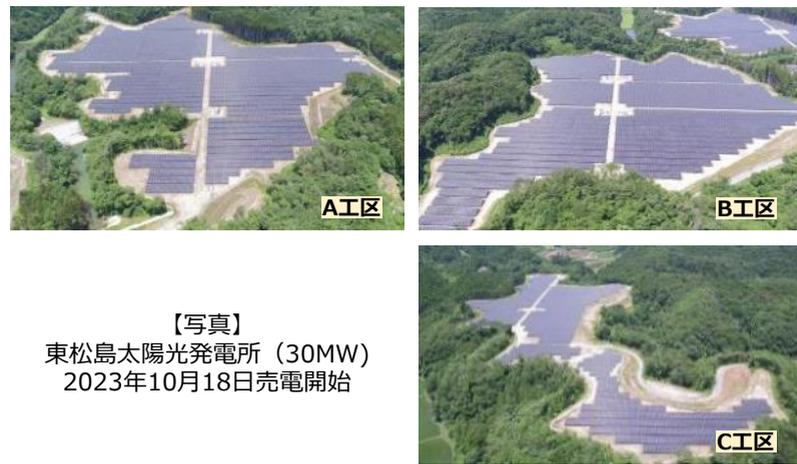


※店舗や時期によって取扱いメニューや価格が異なる場合があります。

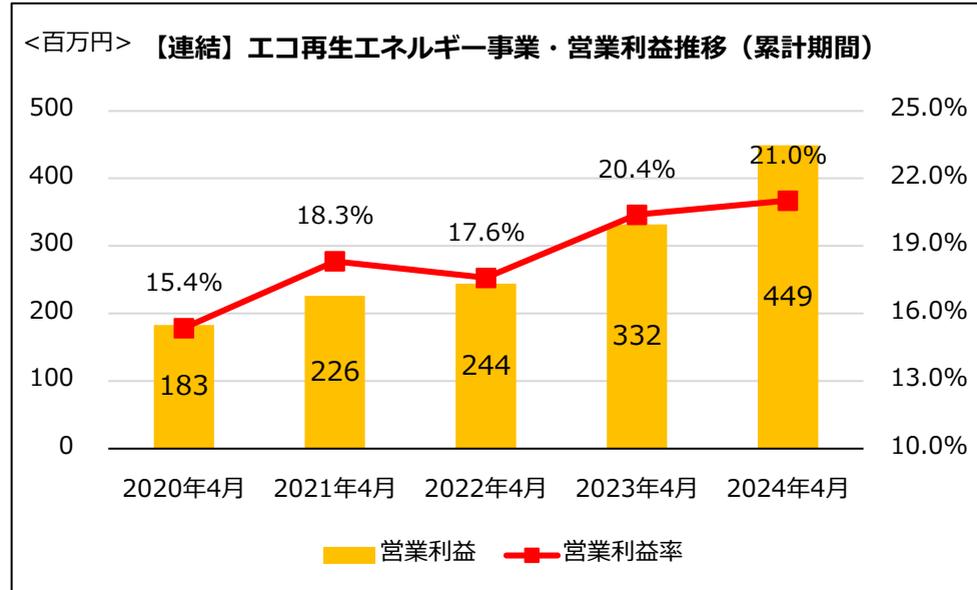
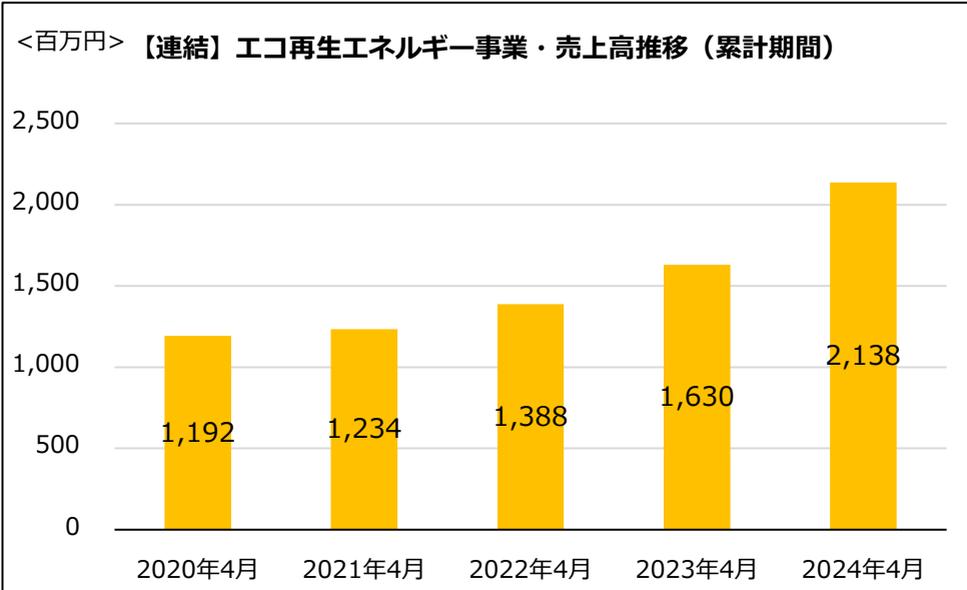


再生可能エネルギーを活用し、環境に配慮した安全・安心なエネルギーの供給をしています。太陽光発電所及び木質バイオマス発電所を運営しています。

- 宮城県東松島市の太陽光発電所（30MW）が2023年10月18日に売電開始。順調に稼働しております。
- これにより、当社保有の太陽光発電所は81MWとなり、予定していた太陽光発電所は全て稼働いたしました。



【写真】
東松島太陽光発電所（30MW）
2023年10月18日売電開始

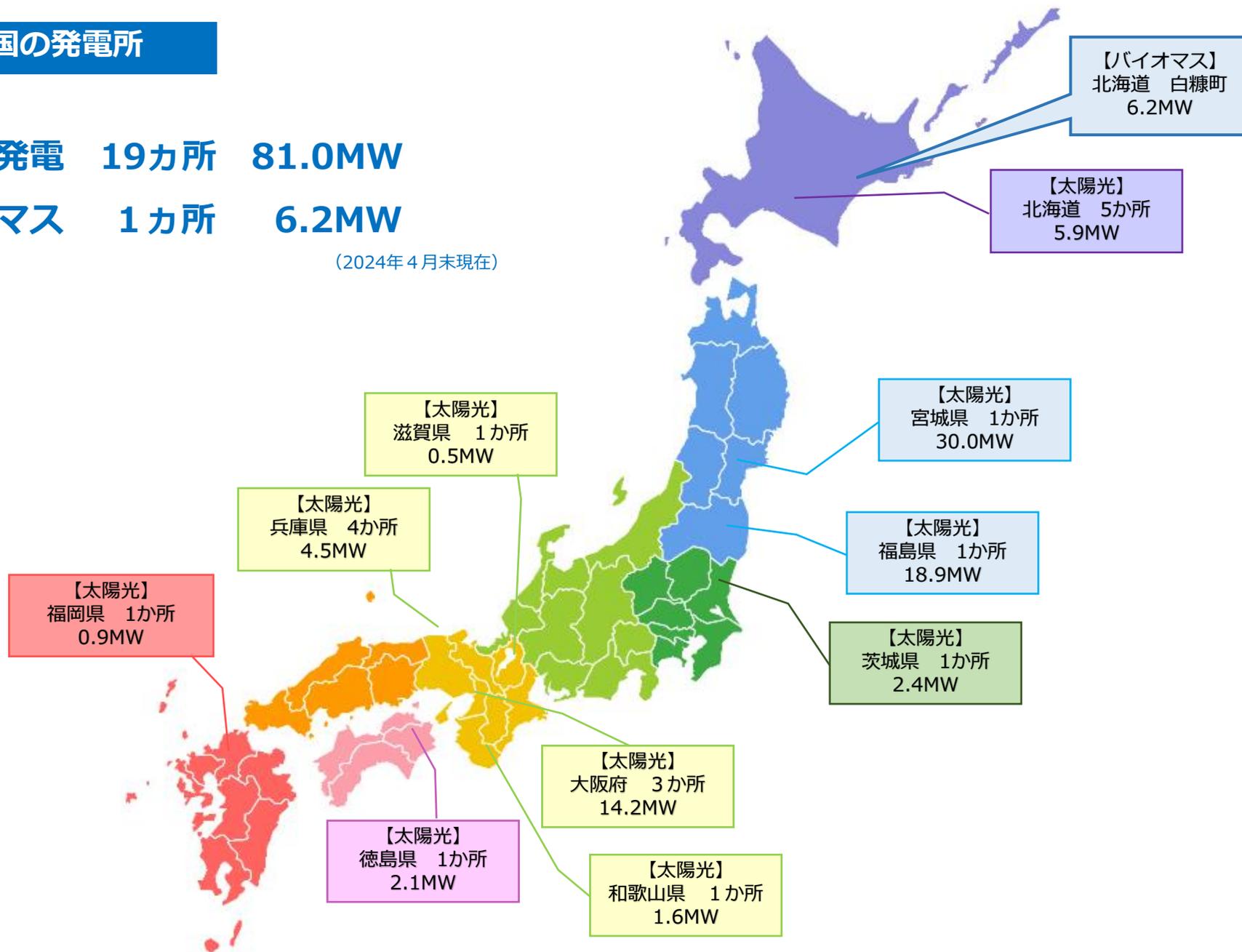


全国の発電所

太陽光発電 19カ所 81.0MW

バイオマス 1カ所 6.2MW

(2024年4月末現在)



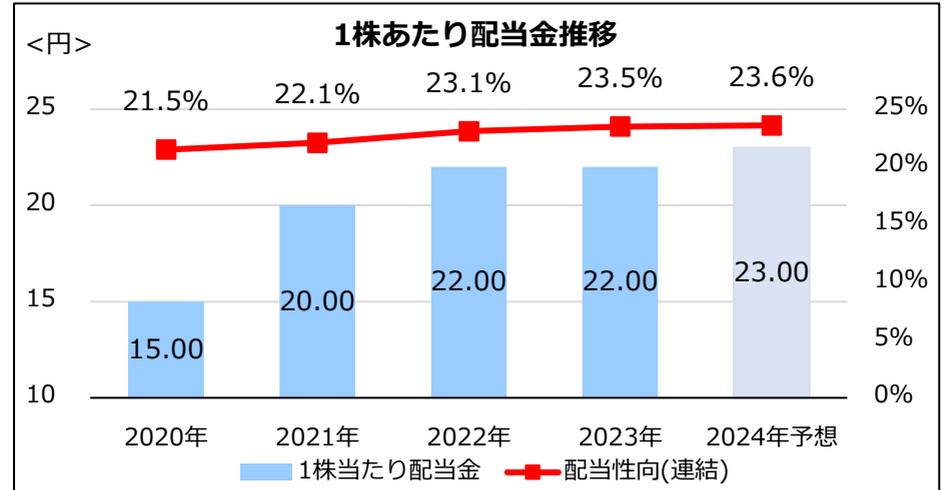
配当金推移

当社は株主様に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しております。事業拡大のための資金を確保しつつ、経営成績に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。

2023年10月期は例年通り年1回の期末配当で、1株当たり22円00銭を実施しました。

なお、2024年10月期の配当は23円00銭を予定しております。

※2020年11月に1:2の割合で株式分割を実施しておりますので、右のグラフは株式分割を考慮した金額となっております。



株主優待制度

当社は、株主様の日頃のご支援に感謝するとともに、多くの皆様に当社事業へのご理解を深めていただくことを目的に、株主優待を実施しております。毎年10月31日時点で当社株式を100株以上保有いただいております株主様に、保有年数及び保有株式数に応じて「JCBギフトカード」を贈呈いたします。

保有株式数	優待の内容	
	継続保有年数 3年未満	継続保有年数 3年以上
100株以上1,000株未満	JCBギフトカード 1,000円分	JCBギフトカード 3,000円分
1,000株以上2,000株未満	JCBギフトカード 10,000円分	JCBギフトカード 15,000円分
2,000株以上	JCBギフトカード 15,000円分	JCBギフトカード 20,000円分



JCBギフトカード

※ご希望の株主様には、JCBギフトカードと引換えに額面相当のPB商品詰め合わせをお送りしております。

プライベートブランド（PB）商品を強化し、
業務スーパーを中心として、事業の継続的な成長を目指します。

■基本方針と戦略

- (1) 外食・中食事業の拡大
- (2) 国内PB商品の生産能力の強化
- (3) 業務スーパーの継続的な成長を目指す

■重点施策

- (1) 業務スーパーを継続的に出店し、1,130店舗以上とする。
- (2) 既存店への出荷額を毎期2%以上成長させる。
- (3) PB比率を37%まで向上させる。
- (4) 国内PB強化のため、設備投資を毎年100億円以上行う。
- (5) 加盟店に対し、省エネ什器や自動発注などの導入を促し、店舗運営を効率化する。
- (6) 外食・中食事業において、継続的に出店を行い、プレミアムカルビはFC店舗を出店する。

(単位：百万円)

	2024年10月期 2Q実績	2024年10月期 計画	2026年10月期 目標
売上高	248,123	498,000	543,000
営業利益	17,720	31,000	37,000
ROIC	10%以上を維持し、毎期の成長を目指す		

「良い物をより安く」を大義に、
食の総合企業としてお客様の豊かな暮らしを支えてまいります。

■長期ビジョン達成に向けた目標

- (1)業務スーパー店舗数を1,500店舗以上に拡大
- (2)PB比率を40%以上に向上
- (3)外食・中食事業の全業態で500店舗以上に拡大
- (4)物流拠点への投資による販管費率の改善
- (5)連結営業利益率を10%以上に向上

- 本資料には、2024年6月13日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれます。
- 経済環境の変動など不確定要因により実際の業績が記載の予想と異なる可能性がありますのでご了承ください。
- 本資料は株式の購入の勧誘・奨励を目的としたものではありません。

～本資料に関するお問い合わせ先～
株式会社神戸物産
経営企画部 IR・広報課
TEL：079-458-0339